

山梨県産業安全衛生大会が開催されました！

平成27年9月28日、甲府市総合市民会館芸術ホールにおいて「平成27年度山梨県産業安全衛生大会」が約350名の参加により、盛大に開催されました。

大会では安全衛生に係る優良事業場に対して山梨労働局長表彰が贈られるとともに、県内全ての関係者が安全で健康な、そして快適な職場を実現するため、英知と力を結集し、全力を挙げて取り組むとした「大会宣言」が採択されました。

また、『火山災害～富士山噴火と防災対策について～』と題した山梨県富士山科学研究所名誉顧問 荒牧重雄先生の特別講演及び県内事業場による安全衛生活動に関する事例発表が行われました。



能坂労働局長あいさつ

大会宣言 建設業労働災害防止協会山梨県支部 オレンジ隊



山梨労働局長 安全衛生表彰

山梨労働局長 優良賞 (サントネージュワイン株式会社)



山梨労働局長 団体賞 (建設業労働災害防止協会山梨県支部オレンジ隊)



山梨労働局長 功績賞 (中丸正彦氏 元公益社団法人ボイラ・クレーン安全協会甲信事務所長)
(望月明彦氏 元一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会山梨支部長)



山梨労働局長 安全衛生推進賞 (山本憲一氏 建設業労働災害防止協会山梨県支部 課長)



特別講演

『火山災害 ～富士山噴火と防災対策について～』

山梨県富士山科学研究所 名誉顧問 荒牧重雄 先生



事例発表



「リニア工事所における安全活動について」
熊谷組・青木あすなる・富士ピーエス共同企業体
株式会社熊谷組 首都圏支店
リニア工事所長 小澤 洋



「我が社の安全活動について」
株式会社アートコーヒー山梨工場
品質管理チーム
チームリーダー 安部嘉之 氏

大会宣言

平成26年の我が国の労働災害による被災者は、全国で約53万人以上にのぼっており、今なお1,000人を超える尊い命が失われている。

労働災害による死傷者数は年々減少してきたものの、平成26年は休業4日以上
の被災者が11万9千人余り、死亡者は1,057人と前年を上回る残念な結果となった。

一方、山梨県内における平成26年の休業4日以上
の被災者は805人で、前年に比べ28人の増加となり、平成20年以来6年ぶりに800人台となった。死亡者については大幅に増加し、4人増加の13人となっている。

また、労働者の健康を巡る状況をみると、一般健康診断の結果では5割以上に何らかの所見が見られ、加えて仕事や職場生活に関する強い不安、悩みやストレスなどで発症したとして精神障害の労災支給決定件数が497人と過去最多となり、勤務問題を原因・動機の一つとしている自殺者が約2,200人いることなど、近年我が国において過労死等が多発し大きな社会問題となっている。

このような状況の中で、平成27年度は、平成25年度から始まった「山梨第12次労働災害防止5か年計画」の中間年であり、目標である平成24年と比較して、平成29年までに労働災害の死亡者及び死傷者数を15%減少する目標達成に向けて、引き続き労働災害防止活動等の徹底を図る必要がある。このため、自主的安全衛生管理活動の活性化を図り、安全基準や作業手順等の基本的な事項の遵守、化学物質を含めたリスクアセスメントの導入・定着、過重労働や化学物質による健康障害防止対策及び職場でのメンタルヘルス対策等の実施により、安全衛生水準を向上させなければならない。

本大会を契機に、山梨県内の全ての関係者全員が安全で健康な、そして快適な職場を実現するため、英知と力を結集し、全力を挙げて取り組むことをここに宣言する。

平成27年9月28日

平成27年度山梨県産業安全衛生大会